■11月27日（金）

ライブ1

9:05〜9:45 総会・評議員会

10:25〜10:55 会長講演
進化を続ける抗HIV薬 ～Prevention, Treatment, and Beyond～

11:05〜11:45 プレナリーレクチャー1
Tackling inequalities to end epidemics

11:45〜12:15 特別講演1
Fast-Track Cities: Making the Case for Japan's Engagement

12:15〜13:15 特別講演2
HIV and regulation: Landscape of HIV products in Europe

臨・C **13:25〜14:55 シンポジウム20**
HIV陽性者における肛門管癌の早期発見と治療戦略

社・S **15:10〜16:40 シンポジウム16**
薬害エイズ被害者遺族相談事業当事者による遺族ケアの実践 ―その可能性と不可能性

基・B **17:10〜18:40 シンポジウム11**
HIV機能的治癒に向けた取り組みの現状

基・B **19:00〜20:30 シンポジウム12**
新しいARTに向けた創薬基礎研究の進展状況

ライブ2

9:00〜 開会式

9:55〜10:15 第17回日本エイズ学会学会賞（シミック賞）受賞講演

12:00〜12:50 共催セミナー1
世界の血友病事情 ―WFHからの報告を踏まえて―
共催：CSLベーリング株式会社

13:00〜13:50 共催セミナー2
患者・服薬支援のニューノーマル ～COVID-19流行の教訓を踏まえて～
共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

14:00〜14:50 共催セミナー3
HIV合併血友病患者のエイジングケア
共催：サノフィ株式会社

15:10〜17:10 共催シンポジウム1
HIV感染症とAging ～HIV感染者のメタボリックシンドローム～
共催：MSD株式会社

17:20〜18:10 共催セミナー4
HIV合併血友病患者の課題とエミシズマブへの期待
共催：中外製薬株式会社

臨・C 社・S **18:30〜20:30 シンポジウム1**
U=Uをめぐる陽性者とHIV予防対策と医療者のあり方について
ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

■11月28日（土）

ライブ1

9:00〜9:50 共催セミナー5
長期療養時代におけるダルナビルの臨床的意義
共催：ヤンセンファーマ株式会社

10:05〜10:55 共催セミナー6
新規抗HIV薬 ピフェルトロ®の抗HIV治療における位置づけを考える ～薬剤師・医師のそれぞれの視点から～
共催：MSD株式会社

11:10〜12:00 共催セミナー7
2剤療法（DTG/3TC）のこれからをHIVの歴史から紐解く
共催：ヴィーブヘルスケア株式会社／塩野義製薬株式会社

12:30〜13:20 共催セミナー8
With/After COVID-19時代におけるARTのNew Normal
共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

13:30〜14:20 共催セミナー9
HIV/AIDS領域におけるジェネリック医薬品の役割 ～求められる医療貢献とジェネリック医薬品への期待～
共催：共和薬品工業株式会社

14:40〜16:40 共催シンポジウム3
NNRTI、その先へ ～薬剤師、医師による基礎および臨床データから見た位置づけと可能性～
共催：MSD株式会社

臨・C **17:00〜19:00 シンポジウム5**
症例から学ぶHIV感染症診療のコツ
ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

Web懇親会

ライブ2

9:00〜10:30 共催シンポジウム2
ペイシェント・サミット「HIV陽性者のPatient Journeyにおけるコミュニケーションの課題：恋愛と性生活」
共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

臨・C **10:40〜12:10 シンポジウム26**
HIV/AIDS領域における企業の情報提供活動の変遷と今後のあり方を考える

13:20〜15:50 Scientific Engagement Satellite Symposia
「長期を見据えたHIV治療の検討」 ～慢性疾患としての患者さんのためのこれからの治療～
共催：ヴィーブヘルスケア株式会社

16:10〜17:00 共催セミナー10
血液凝固因子製剤投与に伴う凝固因子活性の動態把握の意義と薬剤師の役割
共催：武田薬品工業株式会社

基・B **17:30〜19:00 シンポジウム10**
HIV学術研究の今「ウイルスと宿主とのせめぎ合いから」（複製および病原性）

■11月29日（日）

ライブ1

9:00〜9:50 特別講演3
HIV感染症が日本の新薬承認審査に与えたインパクト

10:00〜10:50 共催セミナー11
HIV治療における2剤療法（DTG/3TC）の臨床的意義
共催：ヴィーブヘルスケア株式会社／塩野義製薬株式会社

11:00〜11:50 共催セミナー12
抗HIV薬の忍容性と将来性を見据えたレジメンマネジメント ―リルピビリン／オデフシィの可能性―
共催：ヤンセンファーマ株式会社

基・B **12:05〜13:35 シンポジウム23**
HIV学術研究の今「感染免疫学の視点から」（中和・非中和抗体の役割、細胞性免疫、CAR-Tの有効性等々）
ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

13:50〜15:20 共催シンポジウム5
積み重なるTAFのエビデンス ～TAF containing regimenの臨床的意義～
共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

臨・C **16:05〜17:35 シンポジウム「治療の手引き」**
HIV感染症とAIDSの治療の手引き
★日本エイズ学会認定講習会（医師・看護師）

17:50〜18:50 プレナリーレクチャー2
進化と変転を続ける抗HIV薬

ライブ2

9:00〜11:00 共催シンポジウム4
長期療養時代にあるARTと服薬アドヒアランスの再考
共催：ヤンセンファーマ株式会社

11:15〜11:45 メモリアルサービス
第10回 世界エイズデー・メモリアル・サービス

12:05〜13:35 HIV感染症指導看護師向けアドバンスト研修
学会認定看護師・指導看護師のコンピテンシーを考える

13:50〜15:50 共催シンポジウム6（ワークショップ）
HIV感染症長期治療時代における服薬マネージメント
共催：ヤンセンファーマ株式会社